

うちな〜

むん

肝高

あまわり

阿麻和利

勝連城10代目城主。勝連按司。
彼は沖縄の歴史を通しての代表的な英雄である。
と同時に、逆臣としての悪名も名高い…。

肝高(きむたか)

…沖縄の古語で「志が高い」「心豊か」「気高い」などの意味。

沖縄最古の歌謡集「おもろそうし」では「きむたか」という言葉を使い、勝連とその高い生活文化を称えた。勝連および勝連城の美称。

沖縄の星

NO
IMAGE

『沖縄の星

悲劇の英雄 阿麻和利加那』

増田信一 著

北島新平 画

リブリオ出版

【所蔵館】中央館・石川館

【請求記号】L289ア

「一四五八年、中城の忠臣護佐丸、勝連按司阿麻和利の陰謀により自刃し、阿麻和利も国王に討たる」その歴史を新解釈で紐解く！阿麻和利の一生を描いた物語。

阿の

キムタカ!

NO
IMAGE

『キムタカ！

舞台が元気を運んでくる 感動体験夢舞台』

平田大一 著

アспект

【所蔵館】石川館・勝連館

【請求記号】L775ヒ

勝連の子どもたちを変えたのは、一人の演出家と勝連城最後の主。出演者全員が地元の中学生や高校生という完全子どもだけの舞台『現代版組踊 肝高の阿麻和利』。舞台成功までの道のりと平田大一の半生。

和利

百十踏揚

NO
IMAGE

琉球王女

『琉球王女百十踏揚』

与並岳生 著

新星出版

【所蔵館】中央館・石川館・勝連館

【請求記号】L289ヨ

尚泰久王の娘で、阿麻和利の妻…陰謀と戦乱、歴史の荒波に翻弄された王女・百十踏揚の生涯。定説を覆し百十踏揚のお付、思戸の視点で描いた琉球歴史小説。